

中国民族楽器に関する中国伝統文化講座が開催

12月23日(土)13時30分より岡山商科大学孔子学院にて、中国伝統文化講座が開催された。本講座には井尻昭夫孔子学院理事長も出席された。本講座では孔子学院副院長・岡山商科大学経済学部准教授韓雲冬が司会を務めた。孔子学院院長・岡山商科大学経営学部教授黎曉妮が開幕の挨拶をした。



その後、本孔子学院中国語講師・大連外国語大学軟件学院講師である朱風より『中国の民族楽器について～中阮を中心に～』というテーマで、中国の民族楽器の一つである「中阮」について紹介された。



朱講師は娘である王翎羽さんの生演奏を加えながら「中阮」の歴史的な変遷、構造および基本的な演奏法について詳しく紹介した。その後、王翎羽さんより「さくら」、「丝路驼铃」(シルクロードの駱駝鈴)、「火把节之夜」(松明祭りの夜)、「草原抒怀」(草原への感情)、「幽远的歌声」(幽遠な歌声)など中国の名曲を演奏した。参加者は朱講師の説明を通して、「中国民族楽器について、理解が深まりました」と述べられた。その上で、王翎羽さんの見事な演奏に参加者からは「日常では聞くことのない、楽器の音色を楽ませていただいた」「楽

譜なしで奏でる技量はすごい」などの感想をいただいた。また、孔子学院への要望や期待する行事について「書道、食文化、中国文化など」を行ってほしいとの声も寄せられた。



最後に、岡山商科大学孔子学院副院長李東輝より閉会の挨拶をした。李副院長は朱講師の分かりやすい話と王翎羽さんの素晴らしい演奏といつも孔子学院にご協力してくださっている参加者の皆様へ感謝の意を述べると同時に、今後とも、中国語教育と中国文化の伝播にも引き続き尽力し、皆様のご要望にお応えできるよう、岡山商科大学孔子学院スタッフ一同、誠心誠意取り込んでいきたいと述べた。



執筆者：李東輝・朱風
2023年12月24日